

| | | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---|----------------------|-------------------------|------------|--|------------------|----|------------------|---------|
| 授業科目名 <英訳> | | 医療制度・政策 Healthcare System and Policy | | | 担当者所属・ 職名・氏名 | | 医学研究科 教授 今中 雄一 医学研究科 特定講師 佐々木 典子 医学研究科 特定講師 國澤 進 医学研究科 助教 大坪 徹也 | | | | |
| 配当 学年 | 専門職 | 単位数 | 1 | 開講年度・ 開講期 | 2016・ 前期集中 | 曜時限 | 水 2 | 授業 形態 | 講義 | 使用 言語 | 日本語及び英語 |
| [授業の概要・目的] | | | | | | | | | | | |
| 日本の医療に関する政策・制度に関して、国・地方自治体から医療施設に至る諸々の場における重要課題を扱い、基本的事項を理解する。 <内容> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉に関する政策、制度、事業、その沿革 ・医療の財源 ・医療制度（提供・保険・支払）と医療費 ・医療の質・安全・効率におけるマネジメントシステムと政策 ・医療の評価 ・地域医療構想・計画など諸々の医療関連計画 ・医療マネジメントの骨格：組織、財務 | | | | | | | | | | | |
| [到達目標] | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・医療の領域の政策・制度とマネジメントに関する沿革、現状、理論・概念、研究・評価手法、課題と対策について、重要事項を理解し、他者に説明しできるようになること。 ・基本的な研究や社会制度の意義を系統的、批判的に解釈できるようになること。 ・社会健康医学の研究及び実務上の問題解決に、関連しうる知識等を活用できるようになること。 | | | | | | | | | | | |
| [授業計画と内容] | | | | | | | | | | | |
| 第1回 6月15日 医療政策：国の財政と医療 第2回 6月22日 医療と財源：保険制度 第3回 6月29日 政策と経営：医療の質と安全 第4回 7月6日 保健政策：健康の決定要因 第5回 7月13日 Evidence-Based Policyと制度全体を把握する枠組み 第6回 7月20日 諸外国と日本の医療の経済評価・HTAの利用 第7回 7月27日 医療政策の構築プロセス-地域医療構想について- 第8回 8月3日 医療制度と「市場」 | | | | | | | | | | | |
| * 医学部生チュートリアル、外部講師他の諸状況により日程変更あります。初回に予定を説明します。 | | | | | | | | | | | |
| -----医療制度・政策(2)へ続く↓↓↓----- | | | | | | | | | | | |

医療制度・政策(2)

[履修要件]

社会健康医学系専攻の院生

[成績評価の方法・観点及び達成度]

1. レポート（配点比重 70%）
2. 日々の講義へのコミットメント（配点比重 30%）

[教科書]

適宜、資料を講義にて配布する

[参考書等]

(参考書)

- ・ 医療制度・医療政策・医療経済（丸善出版,2013）
- ・ Handbook of Health Services Research（Springer Science+Business Media）
- ・ 病院の教科書（医学書院,2010）
- ・ 医療安全のエビデンス - 患者を守る実践方策（医学書院,2005）
- ・ 医療の原価計算（社会保険研究所,2003）
- ・ Economics for Health Care Management(Prentice Hall,1998)

[授業外学習（予習・復習）等]

予習・復習は必要

(その他（オフィスアワー等）)

当分野では、医療政策、医療経営、医療の質・安全・コスト研究に深く関わりたい人を募っています（医療経済学分野：<http://med-econ.umin.ac.jp>）

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。